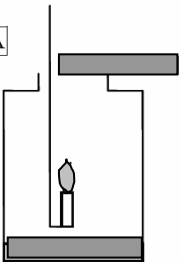
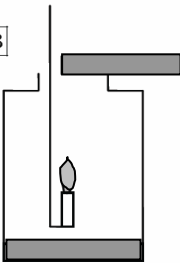
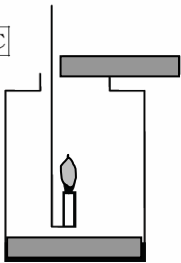
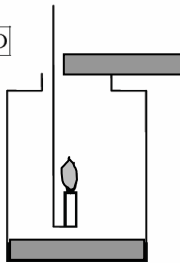


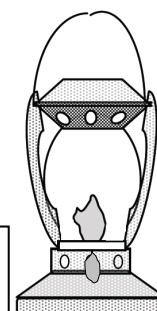
1 太郎さんは、ものの燃え方について調べました。

(1) 下のA～Dのびんの中には、空気、酸素、二酸化炭素、ちっ素のいずれかの気体が入っています。太郎さんは、どの気体が入っているかを調べるために、火のついたろうそくをびんの中に入れて、観察しました。その後、石灰水を入れて調べてみると下のような結果になりました。A～Dの気体の名前を下の()に書きましょう。

A	B	C	D
			
すぐに消えてしまった。石灰水は、白くにごった。	はげしく燃えた後、消えた。石灰水は、白くにごった。	すぐに消えてしまった。石灰水は、白くにごらなかった。	燃えた後、ゆっくりと消えた。石灰水は、白くにごった。

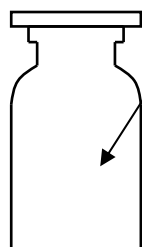
() () () ()

(2) 上の実験では、ふたをしたびんの中の火はすべて消えてしまいました。しかし、ランプの火は、ガラスでおおわれているのに、燃え続けてまわりを明るくしてくれます。ランプの火が燃え続けることができるのは、ランプがどのようなしくみになっているからでしょうか。「空気」という言葉を使って説明しましょう。



2 びんの中の気体の体積の割合を二酸化炭素 50%、酸素 50%に変えて実験しました。

(1) 身の回りの空気と比べて、物の燃え方はどうなるか、次のア～エの中から1つ選び、記号に○をつけましょう。



〈びんの中の気体の体積の割合〉

二酸化炭素 50%	酸素 50%
--------------	-----------

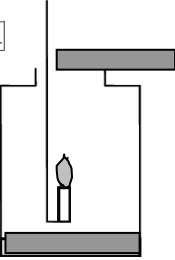
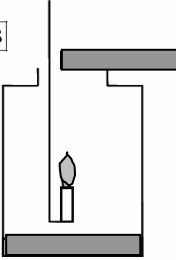
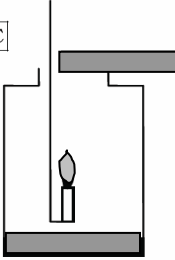
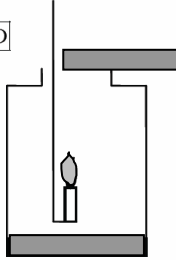
- ア 身の回りの空気よりはげしく燃える
- イ 身の回りの空気とほとんど変わらない
- ウ 身の回りの空気より燃え方が弱い
- エ ほとんど燃えず、すぐに消えてしまう

(2) (1) のような燃え方をする理由を書きましょう。

小理6年	物の燃え方と空気①	組	氏名
発展No.1		番	

1 太郎さんは、ものの燃え方について調べました。

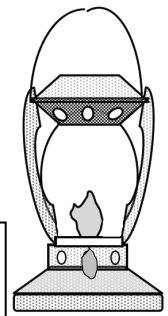
(1) 下のA～Dのびんの中には、空気、酸素、二酸化炭素、ちっ素のいずれかの気体が入っています。太郎さんは、どの気体が入っているかを調べるために、火のついたろうそくをびんの中に入れて、観察しました。その後、石灰水を入れて調べてみると下のような結果になりました。A～Dの気体の名前を下の()に書きましょう。

A	B	C	D
			
すぐに消えてしまった。石灰水は、白くにごった。	はげしく燃えた後、消えた。石灰水は、白くにごった。	すぐに消えてしまった。石灰水は、白くにごらなかった。	燃えた後、ゆっくりと消えた。石灰水は、白くにごった。

(二酸化炭素) (酸素) (ちっ素) (空気)

ちっ素や二酸化炭素だけでは、すぐに消えます。二酸化炭素があると石灰水が白くにごります。

(2) 上の実験では、ふたをしたびんの中の火はすべて消えてしまいました。しかし、ランプの火は、ガラスでおおわれているのに、燃え続けてまわりを明るくしてくれます。ランプの火が燃え続けることができるのは、ランプがどのようなしくみになっているからでしょうか。「空気」という言葉を使って説明しましょう。



(例) 空気が出入りするしくみになっているから。(ランプの下と上にあながあいていて、下から外の空気が流れこみ、上から外に空気が出ていくことで、絶えず空気が入れかわっているから。など)

物が燃え続けるには、絶えず空気が入れかわる必要があります。

2 びんの中の気体の体積の割合を二酸化炭素 50%、酸素 50%

(1) 身の回りの空気と比べて、物の燃え方はどうなるか、次のア～エの中から1つ選び、記号に○をつけましょう。

〈びんの中の気体の体積の割合〉

二酸化炭素 50%	酸素 50%
--------------	-----------

- ア 身の回りの空気よりはげしく燃える
- イ 身の回りの空気とほとんど変わらない
- ウ 身の回りの空気より燃え方が弱い
- エ ほとんど燃えず、すぐに消えてしまう

(2) (1) のような燃え方をする理由を書きましょう。

(例) 空気中より酸素の体積の割合が大きいから。

酸素には、物を燃やすはたらきがあります。ちっ素や二酸化炭素には、物を燃やすはたらきはありません。身の回りの空気は、約 20%が酸素ですが、この実験では、身の回りの空気より酸素の割合が大きいので、はげしく燃えます。